



## 行事を通して

校長 赤尾 眞司

12月になり、朝夕の冷え込みが感じられるようになりました。2021年（令和3年）も、残すところ1ヶ月です。学校は2学期のまとめの月になります。2学期に学習してきた内容を定着させ深めていく学習活動を進めています。今月は個人面談も計画しています。お子様の学習や生活での頑張り、より向上のための課題等担任とご相談ください。2学期は通知表の総合所見は記入をせず、面談に代えさせていただきます。

11月には6年生の移動教室、全学年の運動発表会と大きな行事を開催させていただきました。運動発表会ではたくさんの保護者の方にご参観いただきましたこと、感謝申し上げます。子供たちにとっても、久しぶりに保護者の方を前にしての発表で、緊張感があり素晴らしい演技ができたと考えています。

11月4・5日は6年生の「武石移動教室」でした。6年生にとっては初めての移動教室で、初めて集団生活を送る児童がほとんどでした。感染症対策のために様々な制約はありましたが、普段の学校生活では味わえない体験をすることが出来ました。1日目は国宝松本城の見学とキャンプファイヤー、2日目は勾玉作り体験と美ヶ原高原美術館でのお土産購入でした。初めて行く場所、初めての体験、目を輝かせて一生懸命に取り組む姿が見られました。移動教室は、集団での生活の楽しさ、大切さを学ぶ場でもあります。そのためには集団の中で一人一人が自分の役割を果たし、友達のことを考えた行動がとれることが大切になります。今年は1泊2日の移動教室でした。うれしさいっぱい気持ちでスタートし、集団のこと、友達のこと、自分の役割のこと、すべてを考えて行動することは難しかったと思います。しかし、その中でも何かを学び友達のために行動しようとする姿を随所で見る事が出来ました。集団での活動が子供たちを成長させることを、改めて感じさせられました。移動教室での2日間で、一人一人が友達のことを考えた行動の大切さと大変さ、そして友達と一緒にいること協力することの楽しさを少しでも実感できたと思います。

## 国宝松本城にて



12月11日（土）の学校公開は、道徳授業地区公開講座を計画しています。本来でしたら皆様に道徳授業をご参観いただきたいのですが、感染症予防の観点から難しいのが現状です。今年度は、全学級の授業で、1時間を道徳科の授業とします。できるだけ短時間で、譲り合って道徳科の授業参観をお願いします。また、例年行っています講演会は、今年度は紙面に代えさせていただきます。詳しくは後日配布します案内をご覧ください。

道徳教育は、人が一生を通じて追究すべき人格形成の根幹にかかわるものであり、民主的な国家・社会の持続的発展を根底で支えるものと示されています。また、道徳教育を通じて育成される道徳性は、「豊かな心」だけでなく「確かな学力」や「健やかな体」の基盤となり、「生きる力」を育むために重要なものとなります。学校では、道徳教育は教育活動全体を通じて取り扱い、その要になるのが道徳科の授業になります。ご家庭でも是非、子供たちと道徳について考える機会をつくってください。お父さんお母さんの考えを聞き、それに共感したり批判したりすることが、子供たちの道徳性の向上につながるはずで

ご家庭でのご協力が欠かせません。家庭と地域、学校が連携して、子供たちを立派な社会人に育てていきましょう。

# 運動発表会

今年は、2学年ごとの運動発表会という形での公開をさせていただきました。全学年共通で、準備運動にパブリカの曲に合わせた「パワーアップねりま」を行い、徒競走、表現運動を公開しました。高学年ではリレーも行うことができました。開会式や閉会式は、低・中・高学年それぞれで工夫をして行いました。緊急事態宣言が開けた10月から、どの学年も一生懸命に練習に取り組む姿を見ることができました。

## 1・2年生

### みんなで楽しくやっぴいこう (Power of the Paradise)(やっぴみよう)

《1年生》今年度は、1、2年生合同での運動発表会を行いました。当日は、子供たち全員がとても元気よく、明るく、そして素敵な笑顔で踊る姿を保護者の皆様に見ていただき嬉しく思います。運動発表会の振り返りでは、「2年生に優しく教えてもらって嬉しかった」や「2年生のかけっこが速くてびっくりした」など、2年生の姿を見て、感動したことをたくさん書いていました。「来年は今の2年生のように、優しく、丁寧に、ダンスを教えてあげたい」と、今から意欲をもっている姿がたくさん見られました。たくさんの人と関わり、成長することができた1年生です。今の2年生のように、かっこよく、優しい素敵な2年生になれるように、日々成長していくのが楽しみです。



《2年生》1年生と一緒にということで、練習の時から『2年生だ』という意識をもって張り切って取り組んでいました。50m走は、ゴールまで一生懸命走りきることができ、力強い走りに成長を感じました。表現は1年生と一緒に曲に合わせて楽しくのびのびと踊ることを目指して取り組みました。「やっぴみよう」では2年生が、1年生にダンスの振り付けを教えてあげました。1年生に「見ててね。」と優しく声をかけたり、「まずここまでやってみるよ。」「こうするといいいよ。」と丁寧に教えてあげたりする姿がとても頼もしかったです。当日は自信をもって踊る様子、楽しそうな笑顔がキラキラと輝いていて子供たちのがんばりや成長が感じられた運動発表会となりました。



## 3年生 集団なわとび〜ワタリドリ〜

3年生は、低学年から中学年になり、少しでも成長した姿を見せられるように“一生懸命さ”をもとに練習に励んでいました。縄跳びをすることが得意な子も、苦手な子も、中休みや学校以外の時間を使って一生懸命練習しました。演技の中には、今までにやったことがない技があり、なかなかできない子たちもいました。その際は、5～6人程度のグループになり友達同士で教え合いをして一つ一つの技ができるようになりました。本番は、今までとは少し違った成長した子供たちの姿を見ることができたかと思いません。80m走は、スタートラインがそれぞれ違ったり、直線だけでなくカーブがあったりするなど、今までと違った



ものでした。子供たちの中では、「体力がもたないよ。」や「カーブのところがうまく走れない。」などいろいろな声がありました。そんな中でも、全力でゴールまで走り抜ける姿がとても印象的でした。多くのご声援、ありがとうございました。

## 4年生 石東エイサー



をもらい、達成感に満ちた笑顔があふれていました。応援、ありがとうございました。

4年生は、実行委員を中心に練習に取り組みました。3年生と見せ合うということもあり、休み時間や体育の時間以外も積極的に練習に取り組む姿が見られました。石東エイサーは、地域でエイサーの活動をされている、かみさぎ舞鼓打人の佐々木先生が振付を考えてくださり、同じくかみさぎ舞鼓打人の天野さんに三線の生演奏をしていただきました。練習にも何回か参加していただきました。学校外の方々と関わることが難しい中、このような交流ができ子供たちは本当に喜んでいました。80m走は、全力で走り抜ける姿、3年生、4年生関係なく拍手でお互いを応援し合う姿がみられました。運動発表会を終えた後は、たくさん拍手

## 5年生 フラッグ



澄みきった青空の下、赤と青のフラッグが鮮やかに はためき、子供たちは迫力ある演技を披露することができました。保護者の方、地域の方に最高の演技を披露したいとの思いが詰まった演技でした。5年生は、実行委員を中心に練習を進めたりフラッグの動きを考えたりしてきましたが、切れのある動きと力強さ、そして楽しさを表現できるよう取り組みました。たくさんの拍手に送られて退場する姿は、笑顔が光っていました。高学年リレーでは、さすが6年生という走りに尊敬の眼差しを向けていました。全力で走る選手も一生懸命応援する子供たちも、どちらも輝いて見えました。運動発表会当日は、多くのご声援、ありがとうございました。

## 6年生 つなぐ ～Do one's best～



情と一人ひとりの動きが6年生全員の輝きとなり、心を一つに美しい演技を披露することができました。次の6年生に、石東小の伝統を引き継いでもらうことができたと思います。保護者の皆様、多くのご声援ありがとうございました。

6年生にとっては小学校生活最後の運動発表会。準備運動・短距離走・表現運動の実行委員たちを中心に練習を進めました。「組み合わせ体操」では、主に「つなぐ」というテーマや「Do one's best ～全力を尽くす～」という目標をもとに、本番に向けて練習を重ねていきました。練習では、「静と動」を意識して取り組みました。気をつけの姿勢を基本とし、移動は素早く、動きはそろえて演じることで、最上級生らしい立派な姿が見せられるよう取り組みました。また、列ごとにポイントを伝え合ったり、動き方を教え合ったりして協力して練習を行いました。本番では、真剣な表

実施予定の土曜日が2日とも快晴で、暖かな日差しの中での運動発表会が開催できました。保護者の皆様の熱い応援が、子供たちにとって何よりのうれしさでした。本当にありがとうございました。

各学年の演技を掲載しました。文章は各学年にお願いしました。写真は練習時のものです。